

国語では4割、算数では3割弱の教員が、授業進度に遅れがあると回答

全体では、国語で約6割、社会、算数、理科で7～8割の教員が、年間指導計画通りに進んでいると回答。しかし、1学期の段階で、国語はほとんどの学年で、社会は5年生で、算数は2年生と4年生で、3割を超える教員が「計画より遅れている」と回答。遅れている理由は、国語と社会は分量の多さ、算数は児童間の学力差、理科では観察・実験があげられている。

Q 授業は、年間指導計画通りに進んでいますか。

図2-1 年間指導計画の実施状況(全体)

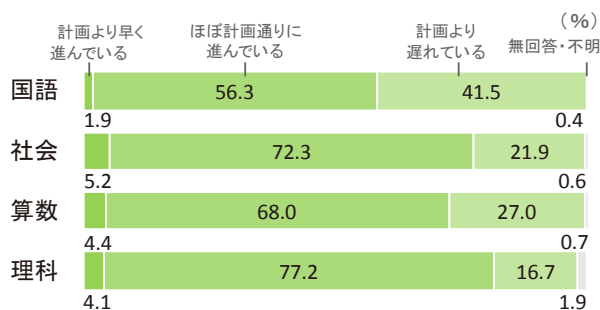


表2 年間指導計画からの遅れ(学年別)

	1年生 (136)	2年生 (121)	3年生 (128)	4年生 (132)	5年生 (136)	6年生 (141)
国語	27.9	38.0	52.3	49.2	51.9	33.6
社会			14.6	10.9	36.7	26.4
算数	19.5	44.1	23.6	33.6	26.5	16.5
理科			7.5	19.8	21.3	20.0

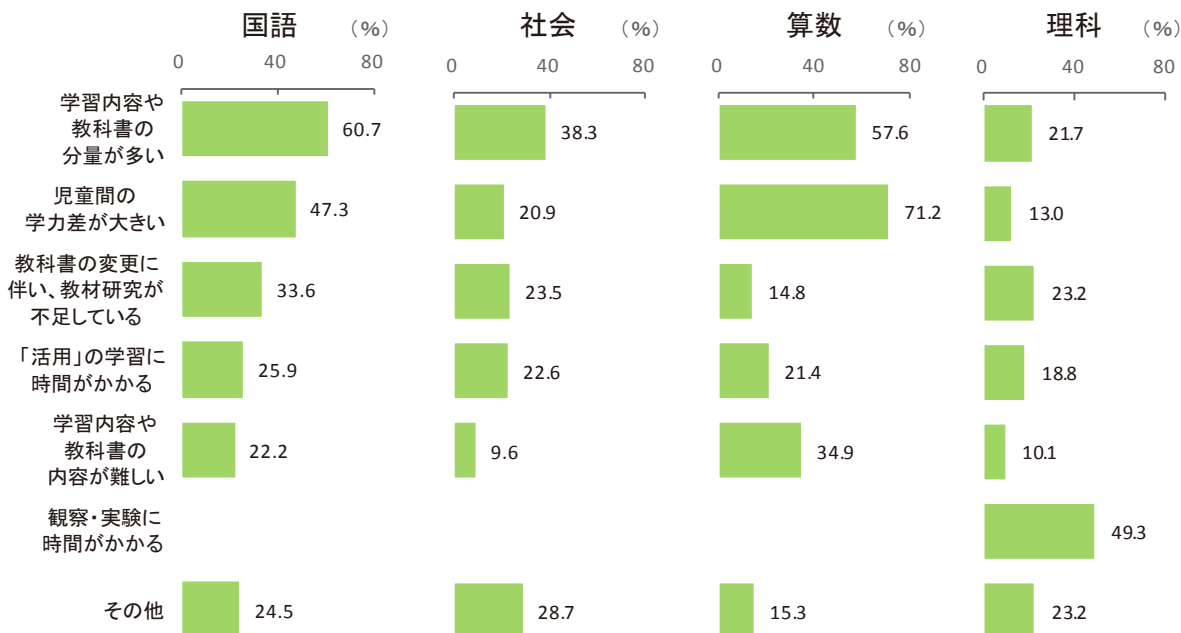
※「計画より遅れている」の%。

※30%以上の数値にアマカケをしている。

※()内はサンプル数。

Q 年間指導計画より遅れている理由は何ですか。

図2-2 年間指導計画からの遅れの理由



※複数回答。

※国語、社会、算数では、「観察・実験に時間がかかる」の項目をたずねていない。

※「計画より遅れている」と回答した教員のみ対象(国語n=351、社会n=115、算数n=229、理科n=69)。